

横浜市立釜利谷南小学校
令和元年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○夢や希望や目標をもち、それに向かって努力を重ね、認め合い、語り合える学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図りながら、児童が友達とのコミュニケーションを大切にし、学習の楽しさを実感し、主体的・対話的に問題解決を進めていくような学習展開を図ります。 ・児童一人ひとりが自己肯定感・有用感をもち、楽しく学校生活を送りながら、夢や希望を語り合える学校にします。 ・学校中に挨拶や笑顔や歓声があふれ、豊かな心や、健やかな体を育成する学校にします。 ・家庭や地域の教育力を学校に取り込むことを通して、進んでまちとかかわり地域とともに生きる児童を育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	挨拶を進んで行い、同学年・異学年の友達と進んで関わり、自分や友だちを大切にする気持ちを育てます。	<ul style="list-style-type: none"> ① あいさつ運動では、自ら進んで挨拶をすることを重点に意識して、挨拶運動を年間通して実施します。 ② 縦割り活動を通して人との関わり方を学び、挨拶やあたたかい言葉遣いなど心の教育を実施します。 ③ 道徳科で学習したことが、日常化につながるよう、指導計画、授業展開、掲示物などの工夫をするとともに、各学級で年1回の授業公開を実施します。
担当	人権推進部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、素直で与えられたことはきちんとやる児童が多く、また「話したり、聞いたりして、人とかがかわることが好き」と答える児童も多い。しかし、生活や学習の場面では、自分の考えを書いたり話したりして伝えることに苦手意識をもち、人との関わり方の弱い面も見られる。学び合いの中で、表現し、交流する力を身に付ける必要がある。経年挨拶運動をしている。朝の校門での挨拶は増えているが、自発的挨拶には個人差がある。道徳的価値は頭では理解しているが、実際には行動に表せないことが多く、友達の間で立って思いやりをもって考えることがなかなかできない児童もいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 人権教育】 「だれもが」「安心して」「豊かに」

- ・人権週間等「人権」に関する取組を公開し、子どもが様々な人との関わりをもち、考えを広げ、普段の授業や学校・家庭生活に積極的に関わってもらえるよう家庭への協力を呼びかけていきます。
- ・「自ら進んで挨拶する」を年間の重点目標とし、挨拶推進のための「ニレの木あいさつ運動」週間を実施して挨拶の定着を図ります。
- ・友達を意識した言葉遣いを推進するため、「ふわふわ言葉」の奨励・定着を図ります。
- ・いじめが起らないような学級風土づくりについて研修を行います。また、いじめの早期発見のため、生活アンケートやYPアセスメントを行い活用していきます。

【項目 自分づくり教育(キャリア教育)】

- ・6年生がリーダーとなって縦割り活動を行い、高学年のリーダーとしての役割意識、グループ内で互いを思いやる気持ち、協力しようとする気持ちを育てます。また、異学年との関わりの中で、一人ひとりの自己有用感を高めます。

【項目 道徳教育】 道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・全学級の道徳科授業を家庭・地域（年1回以上）に公開します。
- ・懇談会等で、道徳の授業について話し、家庭との共通理解を図り、様子を家庭へ知らせていきます。
- ・道徳科で学習したことが、日常化につながるよう工夫・改善を図ります。

【項目『横浜の時間』】 地域材を活用した学習活動

- ・地域や社会、自然等と触れ合う豊かな体験を取り入れ、保護者や地域の方と一緒に参加していただく機会を増やし、豊かななかかわりの中で思いやりの心やコミュニケーション能力を育てます。
（昔遊び、まち探検、米作り、藁なえ、家庭科支援、図書室支援等での協力等）
- ・日本の文化や伝統（尺八、琴等）に触れる学習を設定します。
- ・ニレの木スタディフェスタ（学習発表会）を実施して、本校児童だけでなく、保護者・地域に公開します。